

環境データ 第三者検証報告書

富士電機株式会社 御中

2021年2月24日

株式会社 日本環境認証機構
代表取締役社長 小野寺 浩幸

株式会社日本環境認証機構（以下、JACO）は、国内連結会社・海外連結生産子会社を含む富士電機株式会社（以下、「組織」という）が責任を有する環境経営情報支援システム（以下、「FeSMART」という）に報告された環境データのうち、組織から要請のあったものに対して、独立した立場から検証を行った。検証の目的は、報告情報の信頼性および正確性など、報告情報の信憑性を検証した結果についてその見解を述べることにある。

検証は、国際保証業務基準（ISAE）第3000号に則したJACO検証基準を基本に、組織と合意した手順により、限定的保証として行った。限定的保証業務で実施される手続は、合理的保証業務よりもその種類と時期が多様であり、その範囲が狭い。その結果、限定的保証業務で得られる保証の水準は、合理的保証業務が実施されていたなら得られたであろう保証よりも相当に低い。

【検証内容の概要】

JACOは、組織との合意に基づいて、2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）における環境データに対して、以下の検証を実施した。

検証対象	サンプリング対象6事業所
組織における2020年3月31日時点での対象事業所43拠点の事業活動に伴う、以下を主とした環境パフォーマンス情報。 ・エネルギー使用量 ・工場の水使用量(購入量と取水量(地下水)) ・有価物を含む工場の廃棄物(排出量、最終処分量) ・工場の大気へのVOC排出量	訪問事業所： ・富士電機株式会社 三重工場 ・富士電機株式会社 千葉工場 ※都合によりオンラインインタビューにて代替 データ検証事業所： ・富士電機株式会社 川崎工場 ・富士電機パワーセミコンダクタ株式会社 大町工場 ・富士電機パワーセミコンダクタ株式会社 飯山工場 ・フィリピン富士電機社 いずれの事業所においても、策定された関連資料の確認、責任者及び担当者へのヒアリング又は書類による確認、データ入手方法の確認、報告されたデータと根拠資料との突合により検証を実施した。

【検証の結果】

上述した検証方法、検証手続により、以下のように見解を示す。

- JACOが実施した手続及び入手した証拠に基づいて、主要データの評価に関して、組織の算定基準に照らして適正では無いと確信する事項は、全ての重要な点で発見されなかった。
- 組織は、検証対象範囲の環境データについて、収集・集計・分析のための仕組みを運用しており、その仕組みにより得られたデータは適切、妥当と判断する。

検証された環境データ

- ・エネルギー使用量 1,015 GWh
- ・水使用量(購入量と取水量(地下水)) 13,398 千m³
- ・廃棄物 発生量 32,387 t、最終処分量 345 t
- ・大気へのVOC排出量 1,083 t

以上

【検証の独立性、客観性】組織とJACO検証チームは、特定の利害関係がなく、独立した立場で検証を行いました。